might

リチウムバッテリー式
ＬＥＤ投光機

ネオエコブライト４８０Ｄ

ＭＬＬ－４８０Ｄ

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管してください。
本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。



マイト工業株式会社

目次

はじめに

取扱い上の注意

１．構成・仕様　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

２．本機の組立　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

３．ＭＬＬ４８０Ｄの使い方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

４．車輪ストッパーについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

５．バッテリーパックの管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

6．バッテリーパックの取付け取外し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

７．ＬＥＤ投光機の接続と点灯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

８．充電　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

９．異常を感じたときの簡単な点検方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

回路図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

保証書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

はじめに

このたびは、リチウムバッテリー式 LED 投光機　『ネオエコブライト 480D』をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
本機の取り扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。
取扱説明書は、いつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

取り扱い上の注意

⚠警告

- 分解したり、改造したりしないでください。本機の改造による事故、部品を取り外した状態で使用した事故等については、一切の責任を負いません。
- 本機が変形、または損傷した場合は、直ちに使用を中止し、購入店、または弊社までご連絡ください。
- 電源コードやケーブルを抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。
- コード類に重いものを載せたり、引っ張ったり、傷を付けたりしないでください。もし亀裂等ありましたら、速やかに修理、または交換してください。
- 運搬時はバッテリーボックス部を持ってください。またクレーン等で吊り上げるときは、バッテリーボックス部の底からワイヤー等でしっかり固定し、吊り上げてください。4ヶ所のパッチン錠が外れ、バッテリーボックス部が落下する恐れがあります。

⚠注意

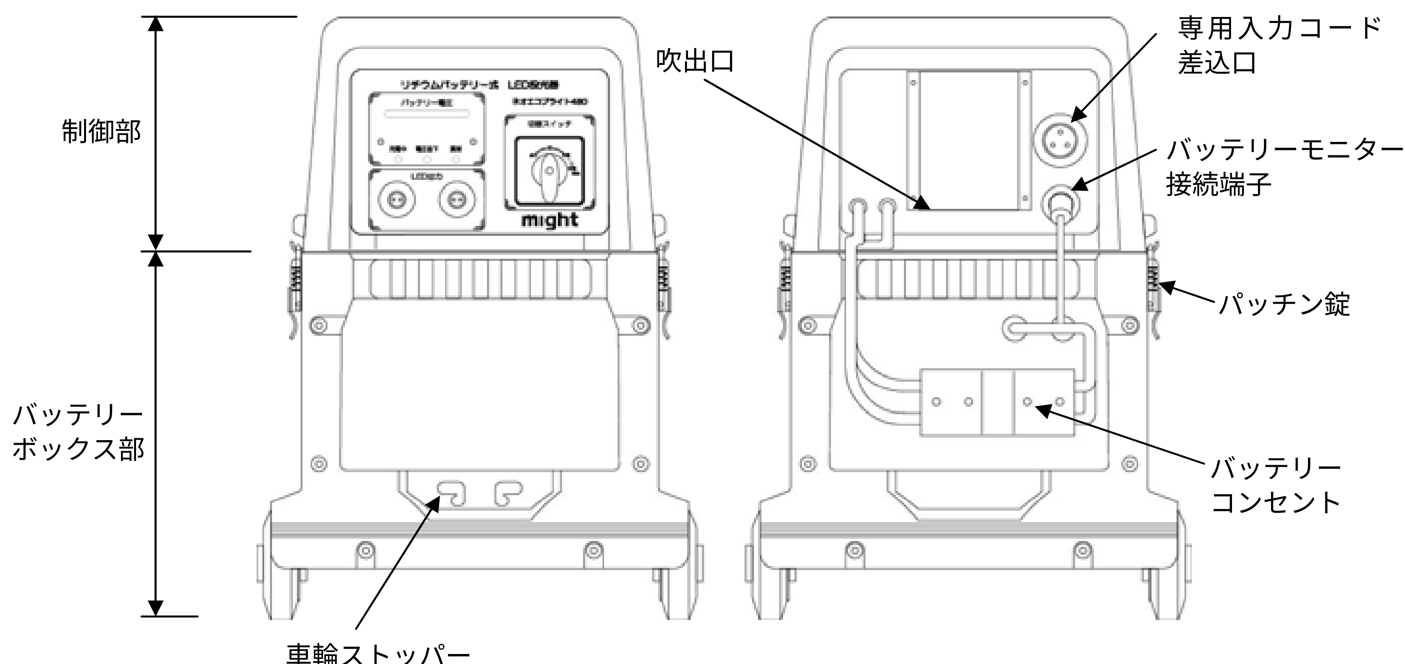
- 制御部とバッテリーボックス部はパッチン錠で固定してあります。バネが強いので注意して取り外してください。
- バッテリーコンセントは接触片を強くしております。制御部のバッテリーコンセントを注意して、まっすぐ強く引き抜いてください。
- 湿気やホコリ、油煙、湯気の多い場所で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 異常に高温な場所、直射日光が当たる場所に放置しないでください。変形や故障の原因となります。
- 海辺や砂地での使用は、砂塵が原因で故障するばかりか修理ができない場合があります。
- 本機は固い場所に水平に設置し、不安定な場所での使用は止めてください。傾斜した状態になると転倒破損の原因となります。
- 本機に座ったり、重たいものを載せないでください。ケースカバーが破損する恐れがあります。
- 使用後は必ず充電を行ってください。
- 使用の有無にかかわらず、１ヶ月に１度は必ず充電完了まで充電してください。

1　構成・仕様

(1)　構成

本機は上部制御部と、下部バッテリーボックス部に分かれるようになっており、上部と下部は４ヶ所のパッチン錠を用いて固定しています。

また制御部とバッテリーボックス部の電気的接続は、本機後面のバッテリーコンセントとバッテリーモニター接続端子で行っています。



(2)　仕様

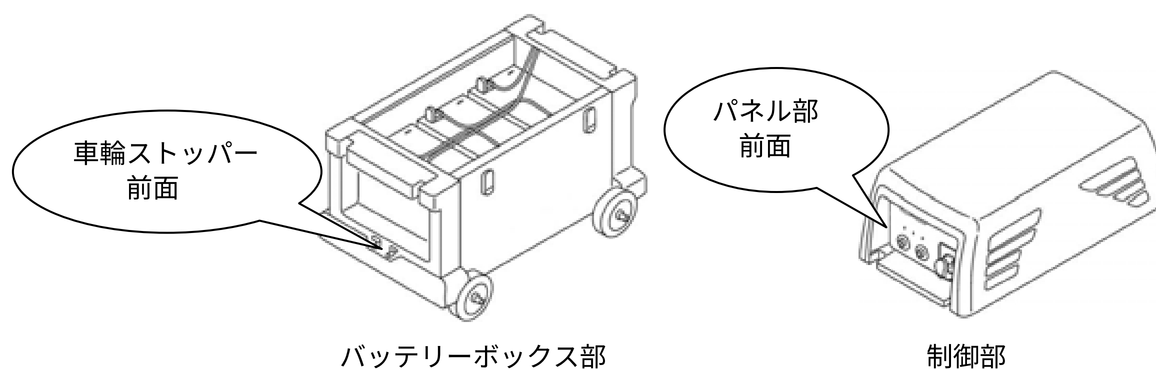
名称		ネオエコブライト 480D
型式		ＭＬＬ－４８０Ｄ
充電装置部	入力定格 出力定格 充電方式 冷却方式	交流 100V　50／60Hz　1300W (1300VA) 直流 48V　最大 20A バッテリーモニター制御定電流定電圧 強制冷却
バッテリー部	バッテリーの種類 定格容量 バッテリーの個数	リチウムイオンバッテリー 40Ah バッテリーパック　BP40-12×３直列
投光機出力	出力 出力電圧 出力容量 出力端子	直流タイプ DC30～48V MAX　190W（95W×2） 専用コネクター（2 回路）
外形寸法　（mm）		W404×L５８０×H５３１(車輪を含む)
質量 （ｋｇ）	制御部	15
	バッテリーボックス部	30

2　本機の組み立て

本機は制御部とバッテリーボックス部の２つに分けて出荷しております。

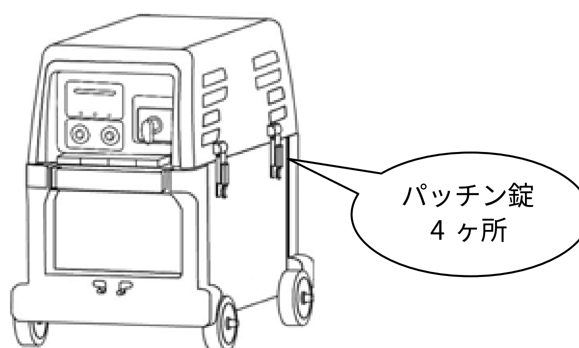
次の手順で組み立ててください。

(1)　制御部の前後を間違えないようバッテリーボックス部にのせます。

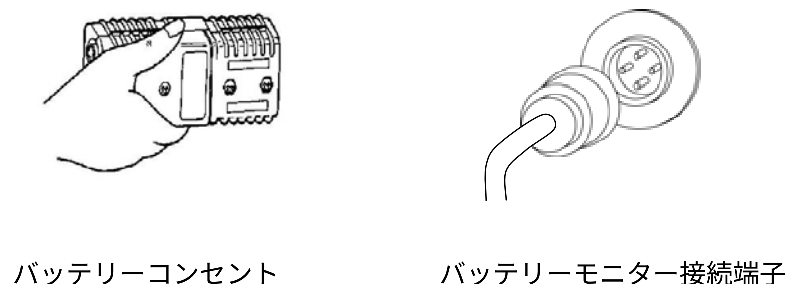


バッテリーボックス部　　　　　　　　制御部

(2)　側面のパッチン錠（４ヶ所）で制御部とバッテリーボックス部を固定します。



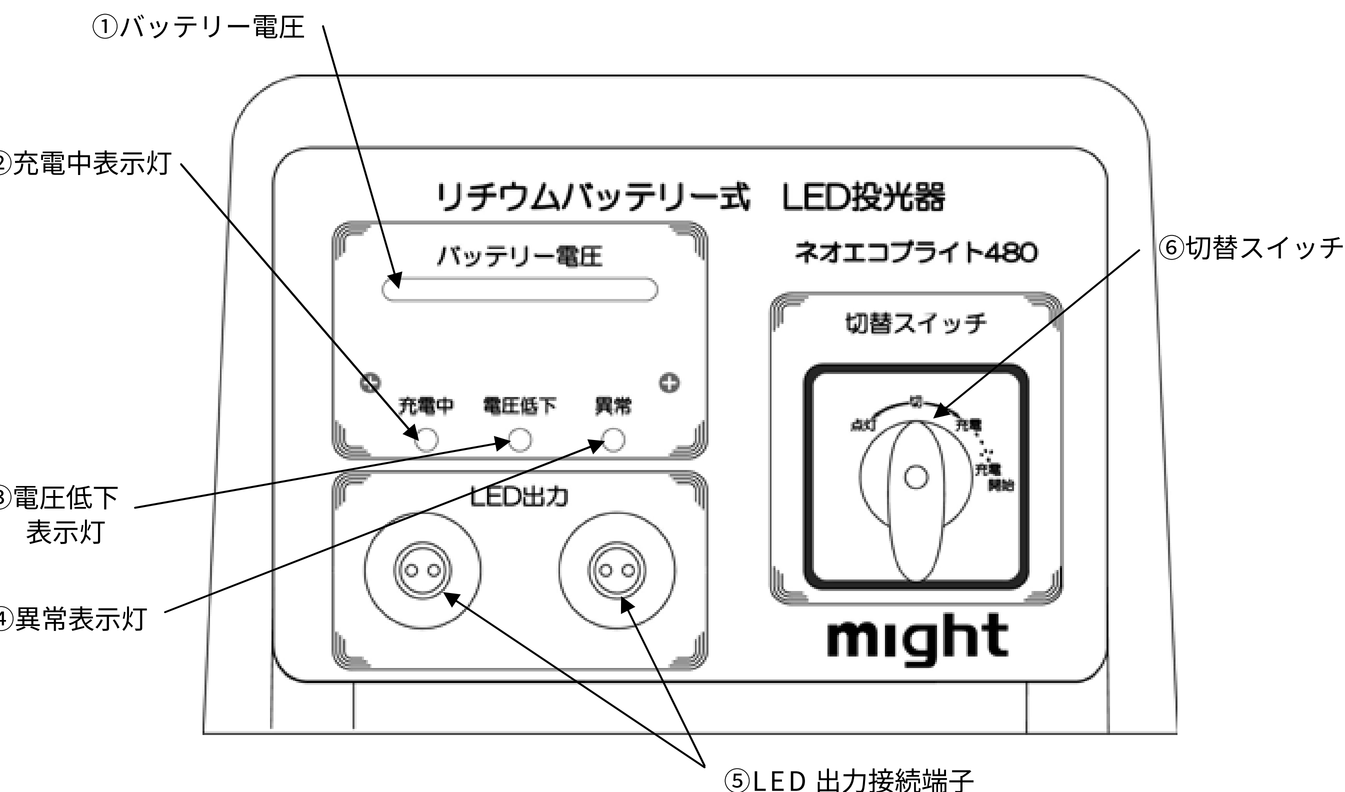
(3)　後面のバッテリーコンセントとバッテリーモニター接続端子を確実に差し込みます。



バッテリーコンセント　　　　　　バッテリーモニター接続端子

３　ＭＬＬ－４８０Ｄの使い方

(1)　操作パネル面の各部名称



(2)　操作パネル面の各部説明

①バッテリー電圧……………	切替スイッチを『点灯』または『充電』に入れた時、バッテリーの電圧(V)が表示されます。
②充電中表示灯………………	切替スイッチを『充電開始』に入れると点灯します。充電が完了すると消灯します。
③電圧低下表示灯……………	切替スイッチが『点灯』の時、バッテリー電圧が低下すると点灯し、LED 出力が停止されます。切替スイッチを『切』に戻すと消灯します。
④異常表示灯…………………	内部温度が上昇すると点灯し、LED 出力が停止されます。切替スイッチを『切』に戻すと消灯します。
⑤LED 出力接続端子 ………	専用ＬＥＤ投光機または専用ＬＥＤバルーンを接続します。
⑥切替スイッチ	
点灯………………………	LED 出力接続端子に出力されます。
切…………………………	内部回路を遮断します。
充電（充電開始）………	『充電開始』にスイッチを倒すと、充電が開始されます。手を離すと自動で『充電』に戻ります。充電完了後、『充電中表示灯』が消灯し、本機後面の冷却ファンが停止します。

※　注記

- 充電が完了しましたら、切替スイッチを『切』にしてください。自己放電によりバッテリー電圧が低下します。
- 使用の有無にかかわらず１ヶ月に１度は必ず充電完了まで充電してください。

4　車輪ストッパーについて

本機にはロック可能な車輪を装備しています。

本機を設置するときにご使用ください

⚠注意

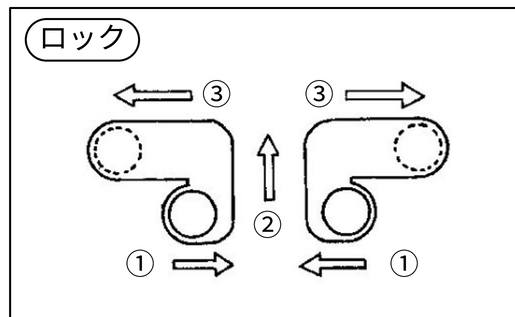
本機は必ず固い床面に水平に設置してください。
傾斜地での設置は、車輪をロックしてもすべり出しの原因となります。

(1)　車輪をロックする場合

① 車輪ストッパーを矢印①の方向に引き寄せ、矢印②の方向にもち上げます。

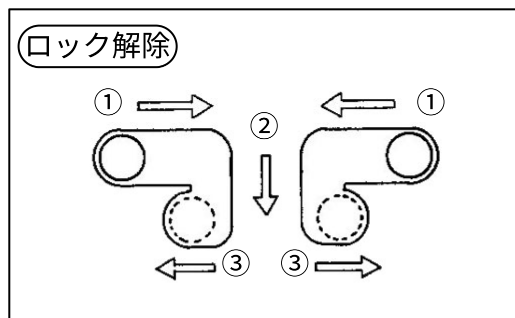
② 本機を前後に移動させると、車輪ストッパーが矢印③の方向に移動し、『カチッ』と音がして車輪がロックされます。

③ 必ず本機が移動しないことを確認してください。



(2)　車輪のロックを解除する場合

① 車輪ストッパーを矢印①の方向に引き寄せた後、矢印②の方向に下げ、矢印③の方向に離します。



5　バッテリーパックの管理

本機を長くご使用いただくためには、バッテリーパックの管理が重要なポイントとなります。

次の点に注意して正しくご使用ください。

(1)　風通しがよく、雨水のかからない場所に保管してください。

(2)　多少にかかわらず、使用後は必ず充電完了まで充電してください、放電した状態での保管は、バッテリーパックの寿命を著しく縮めます。

(3)　使用の有無にかかわらず、１ヶ月に１度は必ず充電完了まで充電してください。

(4)　充電完了しても点灯時間が著しく低下したら、バッテリーパックの寿命です。新品のバッテリーパックと交換してください。

6　バッテリーパックの取り外し、取り付け

⚠警告

- バッテリーパックの取り外し、取り付けを行う際は、金属工具などによって＋端子とー端子を接触させないでください。ショートの火花により引火爆発の原因になります。
- バッテリーパックを取り外す時は、必ずー端子から、取り付けは＋端子から始めてください。＋ケーブルは＋端子へ、ーケーブルはー端子へ接続し、絶対に逆接しないようしっかりと取り付けてください。電気回路の故障や配線の焼損、引火爆発の原因となります。
- バッテリーパックは絶対に分解しないでください。

⚠注意

- バッテリーパックの交換の際は、マイト純正バッテリーパックと交換してください。
- バッテリーパックの交換の際は、すべてのバッテリーパックが同等の履歴のものと、同時に取り替えてください。バッテリーパックの故障の原因となることがあります。
- 端子カバーがある場合は、元通りに取り付けてください。
- ケーブル端子の取り付けは、端子に負担がかからないようにボルト側をスパナなどで固定しながらナット側をしっかりと締付けてください。
- バッテリーモニター監視なしで、充放電を行わないでください。

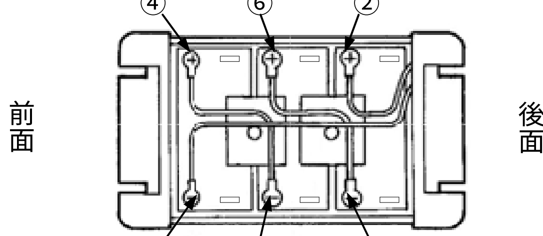
(1)　取り外し作業手順

① 切替スイッチを『切』にしてください。

② 制御部に接続されている入力コード、バッテリーコンセント、バッテリーモニター接続端子を抜いてください。

③ バッテリーパックに接続されているバッテリーモニターのコネクターを抜いてください。

④ 下記の手順でケーブル端子を外してください。



※　取外したバッテリーは（3）使用済みバッテリーの取扱いにしたがって処理してください。

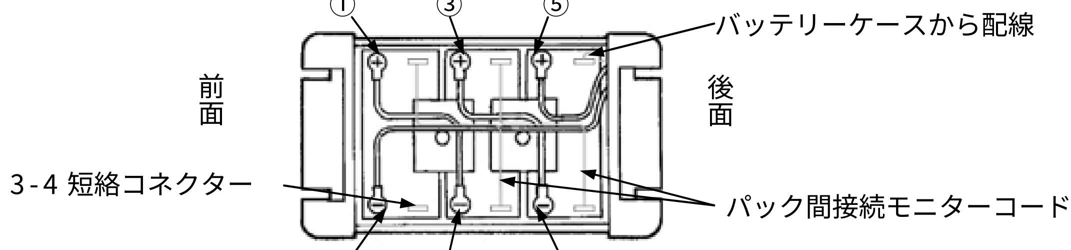
(2)　取り付け作業手順

① バッテリーボックス内に異物がないことを確認し、バッテリーパックの端子極性が下記と同じになるよう、バッテリーボックスに載せてください。バッテリーパックは水平状態で、がたつきがないように載せてください。

② ケーブル端子を下記の順番で取り付け、緩みがないようしっかりと締付けてください。

③ ケーブル端子に端子カバーを元通り被せてください。

④　バッテリーパックにバッテリーモニターのコネクターを接続してください。



(3)　使用済みバッテリーの取扱い

⚠ 警告

- 使用済みバッテリーパックは子供が触れる場所に保管しないでください。失明、火傷の原因となります。
- 使用済みバッテリーパックの＋端子とー端子を金属工具などによりショートさせたり、火気を近づけたりしないでください。引火爆発の原因となります。

※　使用済みバッテリーパックはそのまま廃棄せず、販売店にご相談ください。

7　LED 投光機の接続と点灯

(1)　本機を水平でしっかりした場所に設置し、車輪ストッパーで車輪をロックしてください。必要であれば、木片等で車輪を固定してください。

(2)　『LED 出力接続端子』にＬＥＤ投光機またはＬＥＤバルーンを接続してください。

(3)　『切替スイッチ』を『点灯』に入れると、ＬＥＤ投光機またはＬＥＤバルーンが点灯します。

(4)　ＬＥＤ投光機を 1 灯接続時で約 20 時間、2 灯で約 10 時間連続点灯します。また、ＬＥＤバルーンは約８時間点灯します。消灯する場合は、『切替スイッチ』を『切』に戻してください。

(5)　バッテリー電圧が低下すると、『電圧低下表示灯』が点灯し、LED 出力は自動停止されます。（『電圧低下表示灯』点灯後、24 時間が経過するか、バッテリー電圧が更に低下した場合には、バッテリーの過放電を防止するために全ての表示灯が消灯します。）

8　充電

⚠注意

- 電源より距離があるために、コードリール(15Ａのもの)を使用する時は、コードリールを巻いたままの使用は避けてください。コードリールが過熱し、焼損の原因となります。中継コードは、太さ(導体公称断面積)2.0mm^2 以上のものを、最大長さ 20mでご使用願います。
- 本機を充電中、家や工場の電源ブレーカーが切れるときは、同じ電源回路に冷･暖房機や、その他の電気器具が使用されて、容量不足になっている可能性があります。（または、ブレーカーそのものが古かったり、容量が小さいこともあります。）確認して他の負荷のない回路の電源コンセントを使用してください。
- 感電防止のため、100Ｖ入力コードのアースクリップを必ずアース（接地）してください。

(1)　本体後面の専用入力コードをしっかりと取り付け、AC100V に接続してください。

(2)　『切替スイッチ』を『充電開始』位置まで倒すと『充電中表示灯』が点灯し、充電が開始されます。手を離すと自動的に『充電』位置に戻ります。
（充電中、冷却ファンが回転し、吹出口から冷却風が吹き出します。）

(3)　約２時間で充電が完了し、『充電中表示灯』が消灯します。なお、バッテリーの放電量が少ない場合は、放電量に応じて充電時間が短縮されることがあります。

(4)　充電が完了すれば、『切替スイッチ』を『切』に戻してください。

※　LED 投光機点灯中、または充電中に『異常表示灯』が点灯した場合には、『LED 出力』、または『充電』は停止されます。『切替スイッチ』を『切』に戻して使用を中止してください。『異常表示灯』が点灯しているときは、バッテリーパックの内部温度が上昇しています。
故障の可能性がありますので、購入店、または弊社までご連絡ください。

9　異常を感じたときの簡単な点検方法

症状	点検項目
切替スイッチを『点灯』、及び『充電』に入れても、バッテリー電圧計が表示しない	①　後面のバッテリーコンセント、バッテリーモニターが確実に接続されていますか。 ②　バッテリーに異常はありませんか。
切替スイッチを『充電』に入れても充電中表示灯が点灯しない	①　『充電開始』にスイッチを倒しましたか ②　１００V 入力プラグが確実にＡＣ１００Ｖコンセントに差し込まれていますか。 ③　AC100 V コンセントに AC100 V が来ていますか。電源電圧が低下していませんか。 ④　１００V 入力コードがプラグの内部で断線していませんか。 ⑤　バッテリーコンセント、バッテリーモニターが確実に接続されていますか。
切替スイッチを『点灯』に入れても LED が点灯しない	①　バッテリーコンセント、バッテリーモニターが確実に接続されていますか。 ②　LED 出力接続端子は確実に接続されていますか。 ③　LED のコードが内部で断線していませんか。 ④　『電圧低下表示灯』が点灯していませんか。

※　上記の点検で解決しない時は、お買い求めの販売店、または弊社営業所にご連絡ください。

本製品の保証期間は次のとおりとします。

本体部分　　　　　　お買い上げから１年

バッテリーパック　　お買い上げから３年

AC100V 入力
CN
F 20A
プリント基板
RY1
CS (充電)
CS (充電開始)
TM (2Hr)
M
FA
SWR充電器
SWR充電器
SWR充電器
SWR充電器
D1
D2
Batt1
Batt2
Batt3
F 15A
CN2
CN3
CN1
プリント基板
RY2
CS* (点灯)
CS* (充電)
CS* (点灯)
表示基板
LED 出力コネクタ1
LED 出力コネクタ2

TITLE	DRAWING_No.
バッテリー投光機 結線図	DNK-0912

保 証 書

このたびは LED 投光機をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お買い上げいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間
   無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから
   本体は 1 年間、バッテリーは 3 年間と致します。
2. 保証内容
   保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外
   次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
   ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
   ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
   ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
   ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
   ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
   ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
   ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
   ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
   ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
   ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
   ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
   ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名)：MLL-480D		製造番号：
お買い上げ日：		
お客様	お名前：	
	ご住所：	
	ＴＥＬ：	
販売店様	住所：	
	店名： ＴＥＬ： 印	


マイト工業株式会社


マイト工業株式会社

本社
〒547-0006 大阪市平野区加美正覚寺 4-7-23

TEL 06-6793-8531㈹
http://www.might-jp.com

No.01-10092101

might

ＬＥＤバルーン投光機用台車
（ＳＢ－２００ＷＤ）

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管してください。
本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。


マイト工業株式会社

目次

１．各部の名称と解説　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

２．操作方法

（１）電源部の収納　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

（２）電源部の取り出し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

（３）バルーンの取付け　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

（４）バルーンの取り外しとマストの収納　・・・・・・・・・・・・・・７

（５）台車の移動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

（６）台車の吊上げ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

（７）ベルトの掛け方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

３．お手入れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

保証書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

このたびは、マイト工業バッテリー投光機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

投光機台車を正しく安全にお使い頂くため、ご使用前や、点検の前に、この取扱説明書やバッテリー投光機ならびにＬＥＤ照明器の取扱説明書もよくお読みください。お読みになった後はお手元に大切に保管して下さい。

なお、ご不明な点は販売店様または弊社にご相談下さい。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

●投光機は下記の使用環境、条件で使用しないでください。

・ 風速１5m／秒（目安：電線が揺れる、傘がさしにくいなどの状態）以上の場所
・ 地盤または床面が強固でない場所や傾斜がある場所
・ 周囲温度３５℃を超える場所、湿度が８５％を超える場所
・ 腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
・ 水の浸る場所および非常に激しい雨が当たる場所
（オプションのビニールカバーを取付下さい）
・ 可燃材に触れる場所
・ 振動、衝撃の激しい場所
・ 粉塵の多い場所

● 器具の据え付けには十分注意を払ってください。

・ 水平で地盤または床面のしっかりした場所にブレーキを掛け固定してください。
わずかでも傾斜があれば車輪に車止めを行ってください。
・ 傾斜があると、マスト支点に大きな力が加わり危険です。
車輪にライナー等を敷いて、マストが垂直になるよう調整してください。
・ マストを上げたときは、固定ボルトを確実に締め付けてください。
・ バルーンの取り付け、取り外しはマストを垂直な状態で行ってください。また、バルーンを取り付けた状態のまま、マストを倒さないでください。

● 台車を吊り上げる時は、バルーンを取り外し、マストを倒し収納状態にしてください。

● 器具の改造、部品の変更は行わないでください。

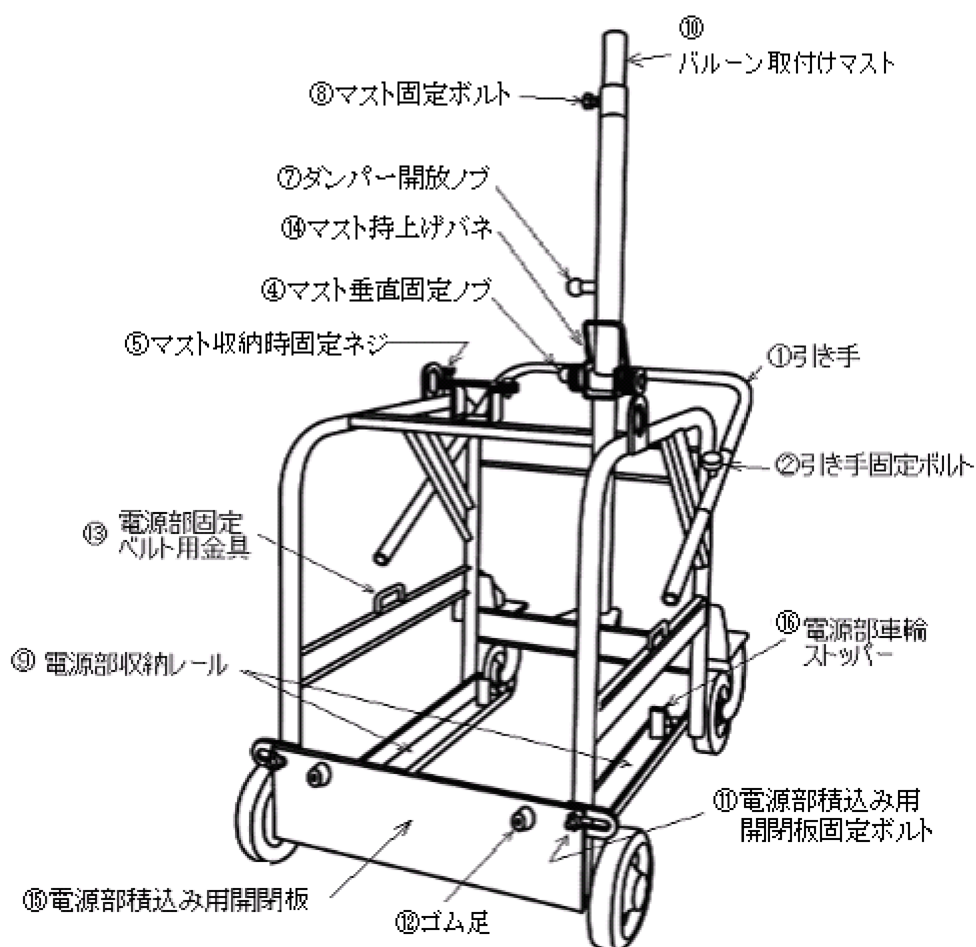
● 万一、異常を感じたら使用を中止し、速やかに販売店様または弊社にご相談ください。


注意

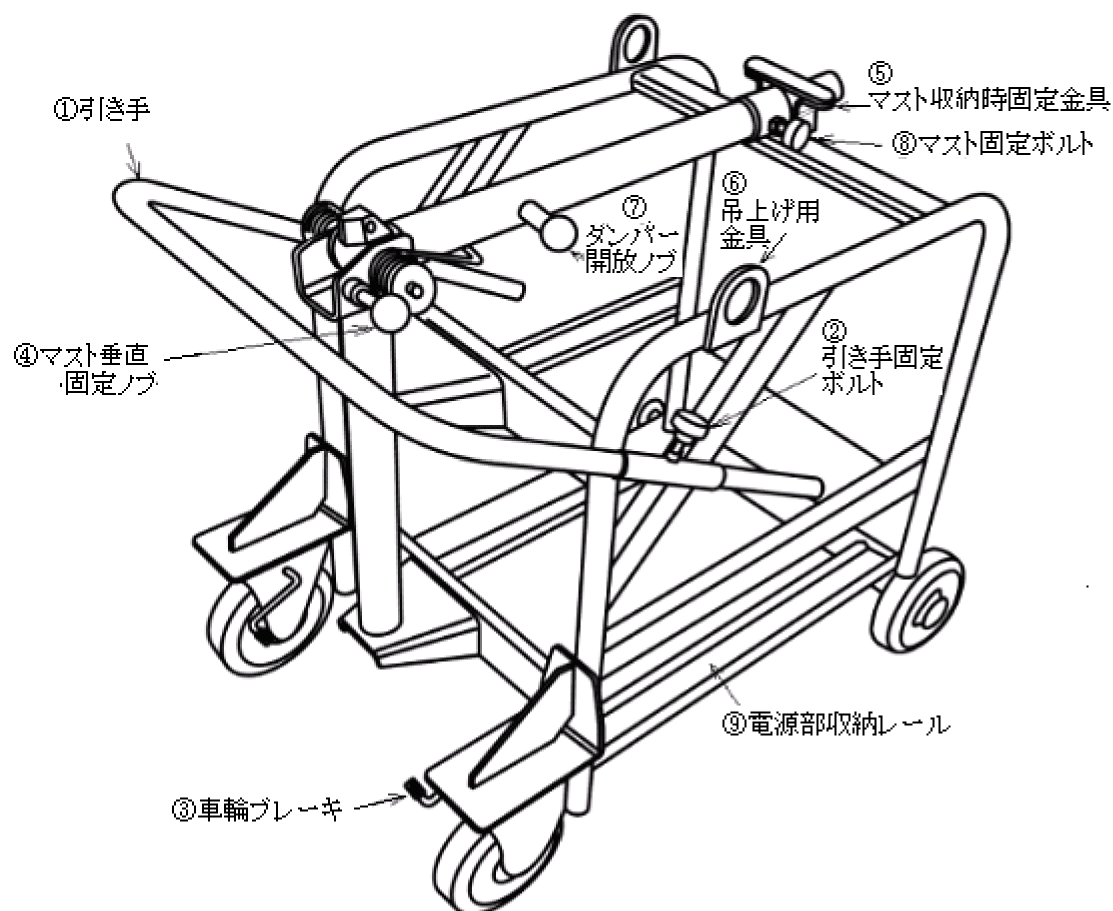
製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、
または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

●お手入れの際には、必ず電源を切って、器具が十分に冷えてからおこなってください。
●この装置には寿命があります。一般的な使用場所で８～１０年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検もしくは交換が必要となりますので、販売店様、または弊社にご相談ください。

１．　各部の名称と解説



台車正面図
マストを立てて状態



背面図
マストを倒した状態

①引き手	台車を移動させる場合の取っ手です。 ②の引き手固定ボルトをゆるめることにより、長さ調整ができます。
②引き手固定ボルト	引き手固定時に締め付けます。
③車輪ブレーキ	下に降ろすと車輪にブレーキが掛かります。 上に上げると車輪ブレーキが解除されます。
④マスト垂直固定ノブ	マストを倒す時に、このノブを引きます。
⑤マスト収納時固定金具	マストを倒した時、この金具で跳ね上がりを止めています。
⑥吊上げ用金具	台車を吊り上げるときに、この金具にロープまたはフックを掛けます。
⑦ダンパー開放ノブ	マストを持ち上げる時にこのノブを引くと、マスト内のダンパーが開放され、マストが軽く上げられます。

⑧マスト固定ボルト	ボルトを緩めるとマストが上下できます。マスト高さが決まればこのボルトを締め付け、マストが動かないよう固定します。
⑨電源部収納レール	このレール上に電源部を収納します。
⑩バルーン取付けマスト	マストの頂部にバルーンを取り付けます。
⑪電源部積込み用開閉板固定ボルト	電源部積込み開閉板を固定します。
⑫ゴム足	電源部積込み開閉板を倒した時に地面または床面に接し、電源部積込み開閉板に傷を付けないゴム足です。
⑬電源部固定ベルト用金具	この金具を利用して、電源部固定ベルトを取り付けます。
⑭マスト持上げバネ	マストを垂直に立てる補助バネです。
⑮電源部積込み用開閉板	電源部を積み込むときに開き、収納後は閉じて電源部の移動を防ぎます。
⑯電源部車輪ストッパー	投光機電源の車輪ストッパーです。

2． 操作方法

（1）電源部の収納

1. 水平で堅固な床または地面に台車を置き、③の車輪ブレーキ掛けます。
2. ⑪の電源部積込み用開閉板固定ボルトを緩め、ボルトを左右に広げて、⑮の電源部積込み用開閉板を倒します。
3. 投光機電源（MLL-480D）をパネルが正面（電源部積込み用開閉板側）に向くように投光機電源の後輪を⑮の電源部積込み用開閉板に載せ、⑨の電源部収納レール上を転がせていきます。
4. 投光機電源 MLL-480D の取扱説明書を参照し、投光機電源の車輪ストッパーを掛け、投光機電源が動かないことを確認します。
5. ⑮の電源部積込み用開閉板を閉じ、⑪の電源部積込み用開閉板固定ボルトを内側に寄せてから締め込みます。
6. ⑬の電源部固定ベルト用金具にベルトを通し、左右のベルト先端の連結器具をカチッと音がするようにして連結します。連結の後、ベルトを締め込み、電源部が動かないようにベルトを締め込みます。
7. ベルトの余った部分は、締め付けたベルトに巻付けてください。

（2）電源部の取り出し

1. 水平で堅固な床または地面に台車を置き、③の車輪ブレーキ掛けます。
2. 電源部固定ベルト先端の連結器具のレバーを押し、ベルトの連結を解除します。
3. ⑪の電源部積込み用開閉板固定ボルトを緩め、ボルトを左右に広げて、⑮の電源部積込み用開閉板を倒します。
4. 投光機電源 MLL-480D の取扱説明書を参照し、投光機電源の車輪ストッパーを解除し、電源部を取り出します。

（3）バルーンの取り付け

1. ⑤のマスト収納時固定ネジを緩め、マスト固定金具を取り外します。
   このとき、マストはバネによって跳ね上がる危険がありますので、注意してください。
2. マストを立てていくと、垂直になった時点で④のマスト垂直固定ノブがバネにより押され、マストは固定されます。
3. ⑩のバルーン取付けマスト先端部にバルーンのマスト先端部を挿入します。
4. バルーン側のマスト先端部の締め付けボルトを締め付け、バルーン取付けマストとバルーンを連結します。
5. ⑧のマスト固定ボルトを緩めておきます。
6. ⑦のダンパー開放ノブを引くと、バルーン取付けマストがゆっくり上昇します。
   （注意）　バルーンを取付けずに⑦のダンパー開放ノブを引くと、マストが飛び出ことがありますので、必ずバルーンを取付け後に行ってください。
7. ⑩のバルーン取付けマストの継ぎ目以降を持って、バルーンの高さ調整を行い、最適な位置で⑧のマスト固定ボルトを締め付けます。

（4）バルーンの取り外しとマストの収納

1. ⑧のマスト固定ボルトを緩め、マストを降ろします。一番下までマストが降りると⑦のダンパー開放ノブがバネにより押されます。
2. ⑧のマスト固定ボルトを締め付けます。
3. バルーンから出ているケーブルを中継コネクタ、または電源部コネクタの何れかで接続を外しておきます。
4. バルーン側のマスト先端部の締め付けボルトを緩めた後、バルーンのマストを持上げてバルーンを台車側マストより取り外します。
5. ⑤のマスト収納時固定ネジを緩め、金具を開けておいてください。
6. ④のマスト垂直固定ノブを引き、マストを持って前方に倒していきます。最後まで倒したら、マスト収納時固定金具を回転させ、⑤のマスト収納時固定ネジを締め付けます。

（5）台車の移動

1. ②の引き手固定ボルト(左右の 2 個)を緩め、①の引き手を引き出します。
   引き出し終わったら、引き手固定ボルトを左右とも締めこみます。
2. ③の車輪ブレーキを上げ、ブレーキを解除します。
3. 引き手を持って台車を移動させます。
   方向を変える場合は、引き手を持上げ、進行方向に台車を向けて下さい。
4. 移動が終われば、ブレーキペダルを踏み込んでブレーキを掛けて下さい。
5. 引き手固定ボルトを緩めてから引き手を押し込み、引き手固定ボルトを締めこみます

（6）台車の吊上げ

1. 車輪ブレーキを掛け、マストはたたんで、マスト収納時固定ネジを締め付けます。
2. ⑥の吊上げ用金具にフックまたは吊上げ用ロープを掛け、ゆっくりと吊上げます。
3. 車輪が地面より離れたら、台車が水平な状態で吊上げられるよう作業員が補助してください。

（7）電源部固定ベルトの掛け方





ベルトが電源部固定ベルト用
金具に取り付けられた状態



ベルトは写真の連結器具を
用いて、繋いでください。



３．お手入れ

●台車の清掃について‥‥汚れを落とす場合は、洗剤（うすめた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。
火災、変質、変色の原因となることがあります。

５．商品の保証について

台車の保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。

保証内容　　取扱説明書等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理等の処置をさせていただきます。
修理に関する相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店様または弊社にお問い合わせください。

保 証 書

このたびはマイト投光機台車をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お買い上げいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間
   無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから
   1年間と致します。
2. 保証内容
   保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外
   次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
   ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
   ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
   ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
   ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
   ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
   ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
   ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
   ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
   ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
   ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
   ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
   ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名)：ＳＢ２００－ＷＤ		製造番号：
お買い上げ日：		
お客様	お名前：	
	ご住所：	
	ＴＥＬ：	
販売店様	住所：	
	店名： ＴＥＬ： 印	

マイト工業株式会社
本社　〒547－0006 大阪市平野区加美正覚寺 4－7－23
TEL. 06－6793－8531 (代)
http://www.might-jp.com

No.01-11080801

might

ＬＥＤバルーン

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管してください。
本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。



マイト工業株式会社

目次

１．製品仕様　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

２．各部の名称　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

３．操作方法

（１）ＬＥＤバルーン投光機の台車への取付けと点灯・・・・・・・・・５

（２）ＬＥＤバルーン投光機の閉じ方　・・・・・・・・・・・・・・・５

（３）ＬＥＤバルーン投光機の台車マストよりの取り外し・・・・・・５

４．お手入れ

（１）バルーン帆布の交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

（２）器具の清掃について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

５．商品の保証について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

保証書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

このたびは、マイト工業ＬＥＤ式バルーン投光機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ＬＥＤ式バルーン投光機を正しく安全にお使い頂くため、ご使用前や、点検の前に、この取扱説明書やバッテリー投光機ならびに投光機台車の取扱説明書もよくお読みください。お読みになった後はお手元に大切に保管して下さい。

なお、ご不明な点は販売店様または弊社にご相談下さい。



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

●投光機は下記の使用環境、条件で使用しないでください。

- 風速１5m／秒（目安：電線が揺れる、傘がさしにくいなどの状態）以上の場所
- 地盤または床面が強固でない場所や傾斜がある場所
- 周囲温度３５℃を超える場所、湿度が８５％を超える場所
- 腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
- 水の浸る場所および非常に激しい雨が当たる場所
- 可燃材に触れる場所
- 振動、衝撃の激しい場所
- 粉塵の多い場所

● 器具の改造、部品の変更は行わないでください。

● 器具を布や燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。

● 万一、異常を感じたら使用を中止し、速やかに販売店様または弊社にご相談ください。



製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

● 器具の取付けには十分注意を払ってください。
取付けが不十分であると器具の落下の原因となりますので、十分確認して取付けてください。

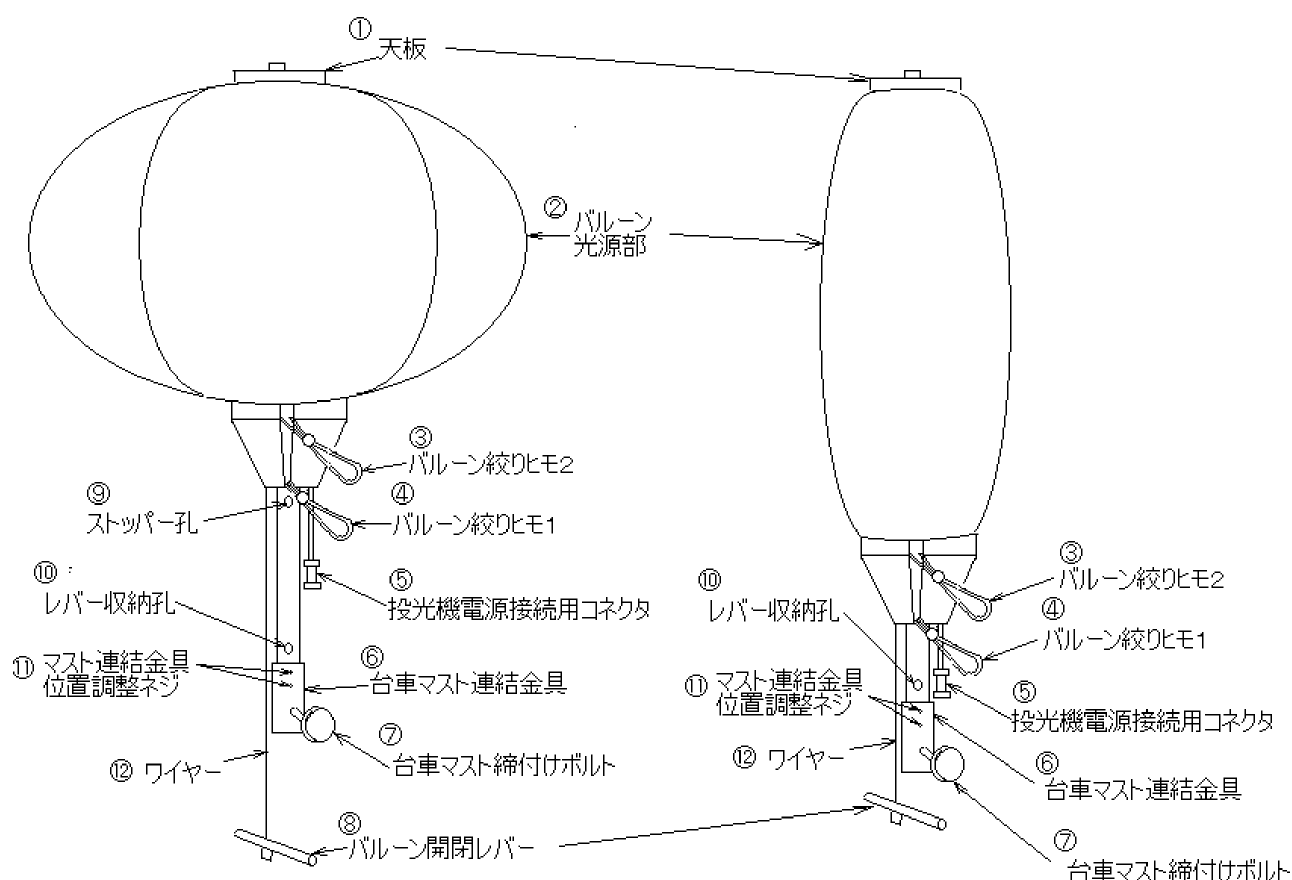
● お手入れの際には、必ず電源を切って、器具が十分に冷えてからおこなってください。

● この装置には寿命があります。一般的な使用場所で８～１０年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検もしくは交換が必要となりますので、販売店様、または弊社にご相談ください。

１．　製品仕様（単品のデータ）

名称	マイトＬＥＤバルーン投光機
定格電圧	ＤＣ３６Ｖ
許容入力電圧	ＤＣ３０－４８Ｖ
消費電流	５．５Ａ
消費電力	１９８Ｗ
総光束	１５，１２０~１６，２００ルーメン
色温度	６，５００Ｋ

２．　各部の名称



バルーンを膨らませた状態　　　　バルーンを閉じた状態

３．　操作方法

（１）ＬＥＤバルーン投光機の台車への取付けと点灯

1. 台車のバルーン取付けマストを垂直に立てます。（台車の取扱説明書参照）
2. バルーンは閉じた状態にしておき、⑦の台車マスト締付けボルトを緩めておきます。
3. 台車マストの先端部に⑥の台車マスト連結金具を挿入します。
4. ⑦の台車マスト締付けボルトを締付けます。
5. ⑧のバルーン開閉レバーを下に引きます。この操作でバルーンは膨らんでいきます。
6. バルーン開閉レバーが下に下がらなくなった時点で、レバーを緩めます。
   カチッという音がして、バルーンは膨らんだ状態となります。
   なお、レバーを緩めるとバルーンが閉じる場合は、再度、バルーン開閉レバーを動かなくなるまで下に降ろしてください。
7. バルーン開閉レバーを⑨のストッパー孔に差し込みます。
8. 台車マストの高さ調整を行います。（台車の取扱説明書参照）
9. ④のバルーン絞りヒモ１に取付けられている球リングを押し込み、バルーンの最下部を絞って下さい。
10. ⑤の投光機電源接続用コネクタに電源部より引き出されているケーブルのコネクタを接続します。
11. 投光機電源部のコントロールスイッチを「点灯」に入れると、バルーンは点灯します。消灯するときは投光機電源部のコントロールスイッチを「切」に戻します。

（２）ＬＥＤバルーン投光機の閉じ方

1. 投光機電源部のコントロールスイッチを「切」とし、バルーンは消灯しておきます。
2. ⑨のストッパー孔より⑧のバルーン開閉レバーを抜き取ります。
3. ④のバルーン絞りヒモ１に取付けられている球リングを手前に引き、バルーンの最下部の絞りを緩めてください。
4. バルーン開閉レバーを動かなくなるまで下に降ろしてから、レバーを緩めます。
   これによりバルーンは閉じます。
   なお、閉じない場合は再度、レバーを引き、同じ動作を繰り返してください。
5. バルーン開閉レバーを⑩のレバー収納孔に入れておいてください。

（３）ＬＥＤバルーン投光機の台車マストよりの取り外し

1. バルーンは前項（２）の閉じた状態としておいてください。
2. ⑤の投光機電源接続用コネクタに電源部より引き出されているケーブルのコネクタの接続を取り外します。
3. 台車のバルーン取付けマストは垂直のままとし、一番下まで降ろします。
   （台車の取扱説明書参照）

4. ⑦の台車マスト締付けボルトを緩め、バルーンのマスト（支柱）を持って引き上げ、台車マストより取り外します。

4．お手入れ

（1）バルーン帆布の交換

バルーン帆布が破れた場合や汚れがひどい場合は、バルーン帆布を交換できます。

（バルーン帆布は別売り）

バルーン帆布の交換は次の手順で行います。

1. ①の天板上面のナット（３個）を取り外し、天板を本体より取り除きます。
2. ③のバルーン絞りヒモ２、④のバルーン絞りヒモ１を一杯まで緩めておきます。
3. バルーン帆布を開口部よりゆっくりとめくり上げ、天板側より取外します。
4. 新しいバルーン帆布を準備し、開口部を天板側より被せていきます。
   このときバルーン帆布の縫い目が、バルーンの 6 本の針金の位置に重なるように被せてください。
5. 天板を元どおりに取付けます。
6. ③のバルーン絞りヒモ２を一杯まで絞っておきます。

（2）器具の清掃について

汚れを落とす場合は、洗剤（うすめた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。

シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。

火災、変質、変色の原因となることがあります。

また、帆布は破れやすいので、尖った固い道具類は使用しないでください。

5．商品の保証について

台車の保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。

保証内容	取扱説明書等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理等の処置をさせていただきます。 修理に関する相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店様または弊社にお問い合わせください。

保 証 書

このたびはマイトＬＥＤバルーンをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お買い上げいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間
   無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから
   1年間と致します。
2. 保証内容
   保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、
   弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外
   次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
   ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
   ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
   ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
   ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
   ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
   ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
   ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
   ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
   ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
   ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
   ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
   ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名)：ＬＥＤバルーン		製造番号：
お買い上げ日：		
お客様	お名前：	
	ご住所：	
	ＴＥＬ：	
販売店様	住所：	
	店名： ＴＥＬ： 印	

マイト工業株式会社
本社　〒547－0006 大阪市平野区加美正覚寺 4－7－23
TEL. 06－6793－8531 (代)
http://www.might-jp.com

No.01-11081801